

第109回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

本日、前回の火山噴火予知連絡会（平成19年10月16日）以降の全国の火山活動について検討を行いました。現在までの全国の火山活動の評価は以下のとおりです。

全国の主な火山活動

桜島では、本年2月3日10時18分と15時54分に昭和火口で爆発的噴火が発生したことから、噴火警戒レベルを2から3に引き上げました。その後6日11時25分にも昭和火口で爆発的噴火が発生し、火砕流が火口から東約1.5kmまで流下しました。以降、爆発的噴火の発生はなく、50～300m程度の白色噴煙を断続的に上げている状況です。地震活動、地殻変動にも特段の変化は見られていません。今後しばらくの間は、火砕流を伴う噴火が発生する可能性がありますので、火口から2km程度の範囲では噴火に伴う大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。昭和火口の噴火活動は、2006年6月の噴火以降、全体的には次第に活発化している傾向がみられており、火山活動の推移を注意深く監視する必要があります。

三宅島では、本年1月7日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、島の東から南東部で微量の降灰を確認しました。多量の火山ガス放出は当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想され、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

雌阿寒岳 [噴火予報（平常）]

- ・1月9日から10日にかけて、体に感じない程度の小さな火山性地震が多発しました。その後しばらくの間はやや多い状態で経過しましたが、2月5日以降は静穏な状態に戻っています。
- ・この地震活動は、2006年3月のごく小さな噴火に先行した活動に比べると地震の振幅は小さく、火山性微動も観測されていません。
- ・噴煙の状況や地殻変動に特段の変化はありません。
- ・火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

十勝岳 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・A火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いていますが、火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

倶多楽 [噴火予報 (平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

有珠山 [噴火予報 (平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・GPS観測で山体の膨張を示すわずかな伸びは引き続き観測されていますが、噴気活動や地震活動に変化はなく、火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

恵山 [噴火予報 (平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

2 . 東北地方

岩木山 [噴火予報 (平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

岩手山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・岩手山山頂東側のやや深い所 (約10km前後) を震源とする低周波地震が昨年 8 月頃から増加傾向にあり、本年 1 月はさらに増加しましたが、浅部の火山性地震は少ない状態が続いています。
- ・傾斜計などによる地殻変動観測では変化は認められません。
- ・表面現象など浅部での火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳 [噴火予報 (平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

栗駒山 [噴火予報 (平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

吾妻山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

安達太良山 [噴火予報 (平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

磐梯山 [噴火予報(平常)]

- ・地震活動、噴気活動は低調な状態で、地殻変動観測でも特段の変化は認められず、火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

那須岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・昨年11月22日から23日にかけて湯釜の南側の浅い所で地震がやや増加しましたが、その他の観測データに特段の変化はありませんでした。
- ・火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

浅間山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

新潟焼山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

焼岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

御嶽山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

白山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

富士山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

箱根山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

伊豆東部火山群 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な島全体の膨張傾向が継続しています。
- ・地震活動及び三原山の熱活動は低調な状態が続いています。
- ・火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

三宅島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

- ・本年1月7日06時54分頃、山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、島の東から南東部で微量の降灰を確認しました。
- ・二酸化硫黄放出量は一日あたり1千~3千トンと、依然として多量の火山ガス放出が続いています。
- ・地震活動や地殻変動にはこれまでの傾向と比べ特に大きな変化は見られません。
- ・引き続き三宅島では、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されます。火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。
- ・多量の火山ガス放出が続いており、風下にあたる地区では引き続き火山ガスに警戒が必要です。また、雨による泥石流にも注意が必要です。

八丈島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

- ・島全体が大きく隆起する地殻変動は昨年11月頃に鈍化したものの現在も継続しています。
- ・地震活動は昨年11月頃以降、落ち着いた状態となっています。
- ・昨年12月19日から20日にかけての夜間に、硫黄島西部の阿蘇台にある陥没孔で熱泥水が噴出した痕跡が確認されました。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

硫黄島の火山名の呼称を平成19年11月22日より「いおうじま(Lojima)」から「いおうとう(Loto)」に変更しました。

福徳岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)]

- ・変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4.九州地方・南西諸島

九重山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

阿蘇山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・孤立型微動は昨年8月頃から一日あたり概ね200回を超える状態で経過し、本年1月29日以降は一日あたり300回以上に増加していますが、その他の観測結果に変化はありません。
- ・火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。
- ・南阿蘇村吉岡(中岳第一火口から西南西約6km)の噴気は噴出力がやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

雲仙岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

霧島山

新燃岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・昨年12月14日から15日にかけて火山性地震がやや増加しましたが、それ以外は少ない状態で経過しました。
- ・火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

御鉢 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

桜島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)] 平成20年2月3日に火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)から火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)に引き上げました。

- ・昭和火口では2月3日0時39分にごく小規模な噴火が発生しました。その後、10時18分と15時54分に爆発的噴火が発生したことから、噴火警戒レベルを2から3に引き上げました。
- ・3日10時18分の噴火では灰色の噴煙が火口縁上1,500mで雲に入り、噴石が4合目(火口から1km程度)まで飛散しました。また、15時54分の噴火では噴煙が500mまで上がり、火砕流が火口から東約1.0kmまで流下しました。
- ・6日10時33分と11時25分に爆発的噴火が発生し、11時25分の噴火では噴煙が火口縁上1,000mで雲に入り、噴石を5合目(火口から500m程度)まで飛散させました。また、火砕流が火口から東約1.5kmまで流下しました。
- ・南岳山頂火口では昨年10月以降4回の爆発的噴火があり、昨年10月29日の噴火では噴煙が火口縁上2,400mまで上がりました。
- ・火山性地震は昨年10月下旬から12月にかけてやや増加しましたが、その後は少ない状態で経過し、噴火発生後も特段の変化はなく少ない状態で経過しています。火山性微動は昨年10月下旬から本年1月にかけてやや増加しましたが、その後は少ない状態で経過し、噴火発生後も特段の変化はなく少ない状態で推移しています。

- ・GPS及び水準測量による地殻変動観測では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が続いています。また、今回の昭和火口からの噴火は、2006年及び2007年と比べ規模が大きくなりより爆発的になってきており、次第に活発化している傾向が見られます。
- ・今後、始良カルデラの地下深部のマグマ溜まりから、多量のマグマが桜島直下へ移動・上昇し、火山活動が活発化する可能性があります。現在のところ、多量のマグマが桜島直下に移動・上昇したこと示す観測データは認められていませんが、地震活動や地殻変動などの観測データを含め、火山活動の推移を注意深く監視する必要があります。また、地震活動や地殻変動に特段変化がない場合でも、噴火が発生する場合がありますので、噴火現象に対する監視も必要です。
- ・今回の噴火活動については、今後しばらくの間は、火砕流を伴う噴火が発生する可能性がありますので、火口から2 km程度の範囲では噴火に伴う大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び火山れき(小さな噴石)に注意して下さい。降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・硫黄岳火口の噴煙活動はやや活発で、火山性地震もやや多い状態が続いています。
- ・硫黄岳火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

口永良部島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] 平成20年1月25日火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)を解除しました。

- ・火山性地震は昨年9月頃より、減少傾向にあります。火山性微動も少ない状態で経過しています。
- ・火山活動は静穏な状況となり、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・御岳火口では爆発的噴火があったほか、小規模な噴火が時々発生するなど、噴火活動が継続しています。
- ・十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落で時々少量の降灰が確認されました。
- ・御岳火口から半径約1 kmの範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。

その他の活火山

以下の活火山では、いずれも火山活動は静穏な状況が続いています。

1. 北海道地方

知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

2. 東北地方

恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳

3. 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島

高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

4 . 中国・九州地方及び南西諸島

三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注) 本資料で示すレベルとは、16火山に導入している噴火警戒レベルをいう。

第109回火山噴火予知連絡会による全国の活火山の火山活動評価結果

(1) 主な活火山(36火山)

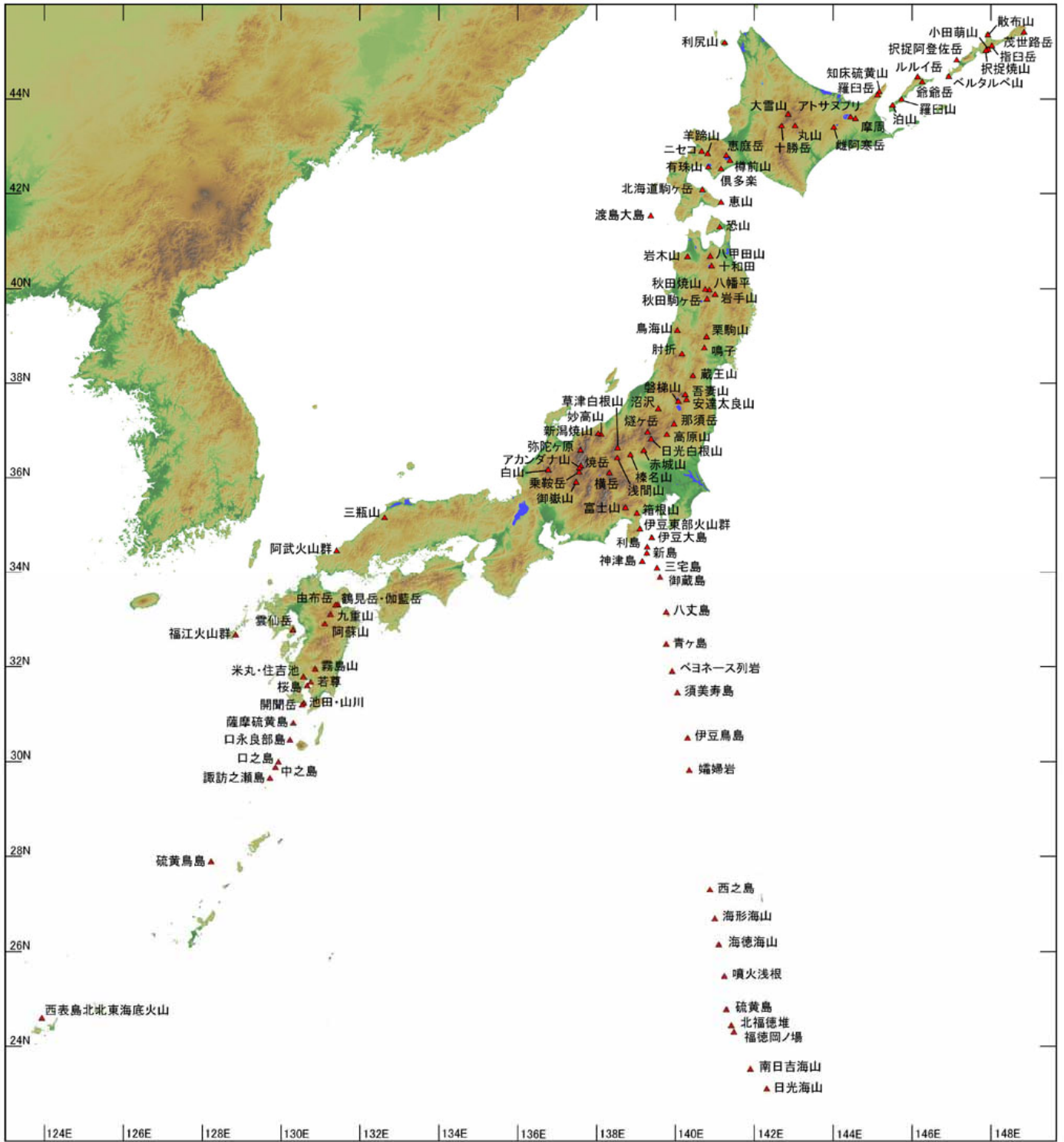
地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	十勝岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	樽前山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	有珠山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	恵山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
東北地方	岩木山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	岩手山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	栗駒山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	吾妻山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	磐梯山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	草津白根山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	浅間山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	新潟焼山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	御嶽山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	白山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	富士山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	伊豆大島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	三宅島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	八丈島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域危険)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	口永良部島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日 噴火予報(レベル1、平常)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

(2) その他の活火山 (72火山)

以下の活火山では平成19年12月1日に噴火予報 (平常) を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山



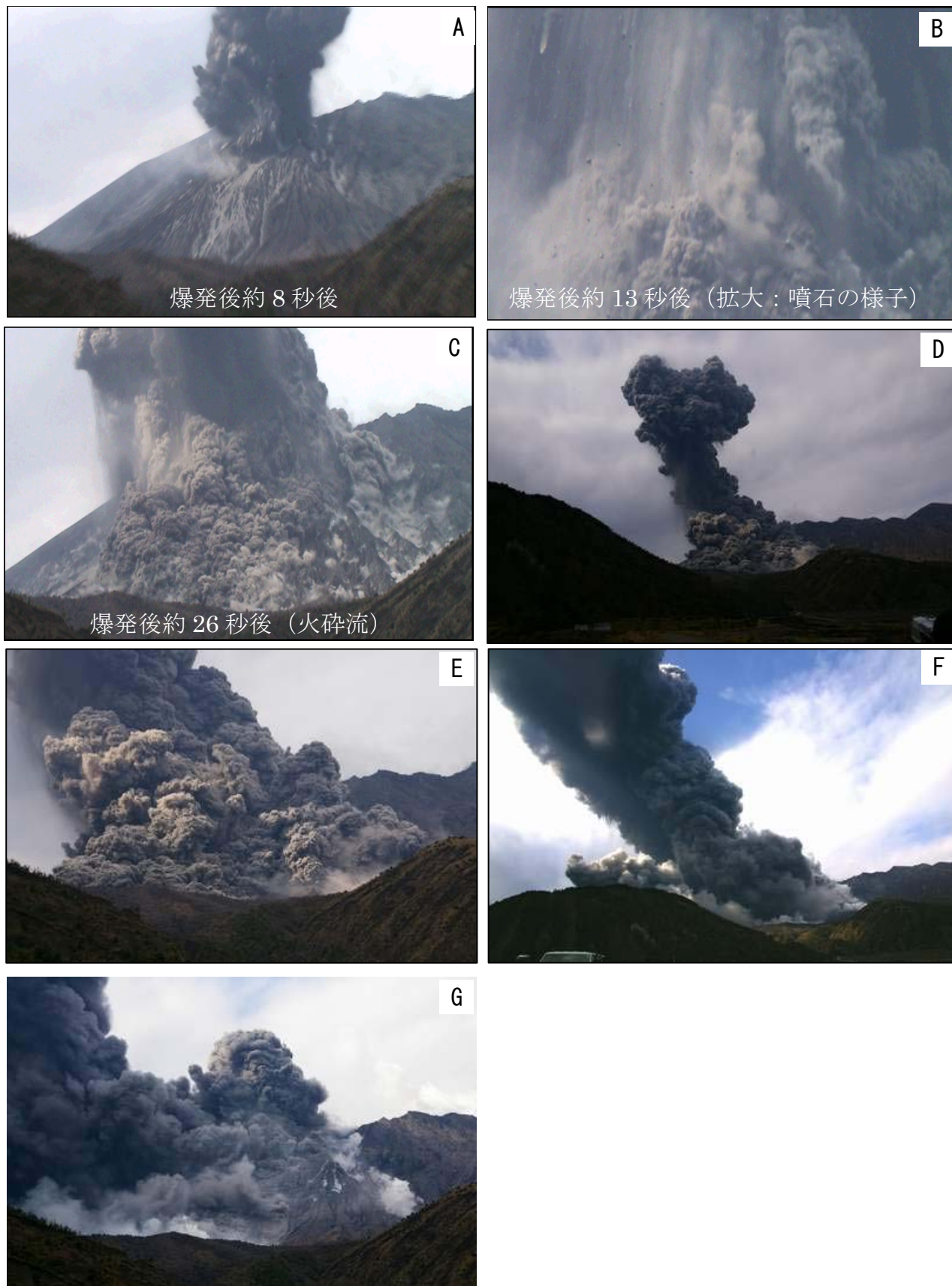


図 4 桜島 2月6日 11時25分の爆発的噴火(図1の①にて撮影)

- ・ 灰白色の噴煙が火口上 1000m まで上がり雲に入った。
- ・ この爆発に伴い火砕流が発生し、東約 1.3km まで達した。
- ・ 時間経過は A~G の順番。

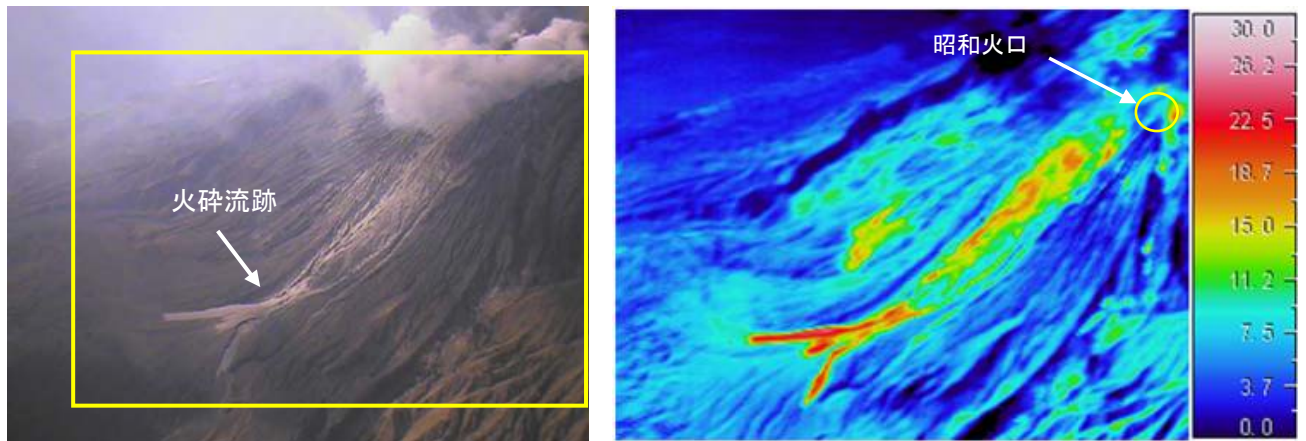


図 6 桜島 九州地方整備局の協力により、2月4日 11 時 10 分頃撮影した可視画像（左）と熱映像（右）

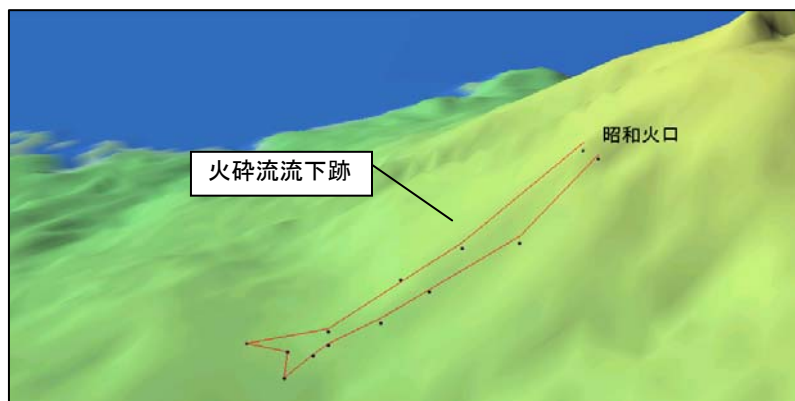


図 7 桜島 カシミールを用いてプロットした火砕流流下跡
この地図の作成には国土地理院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用した。

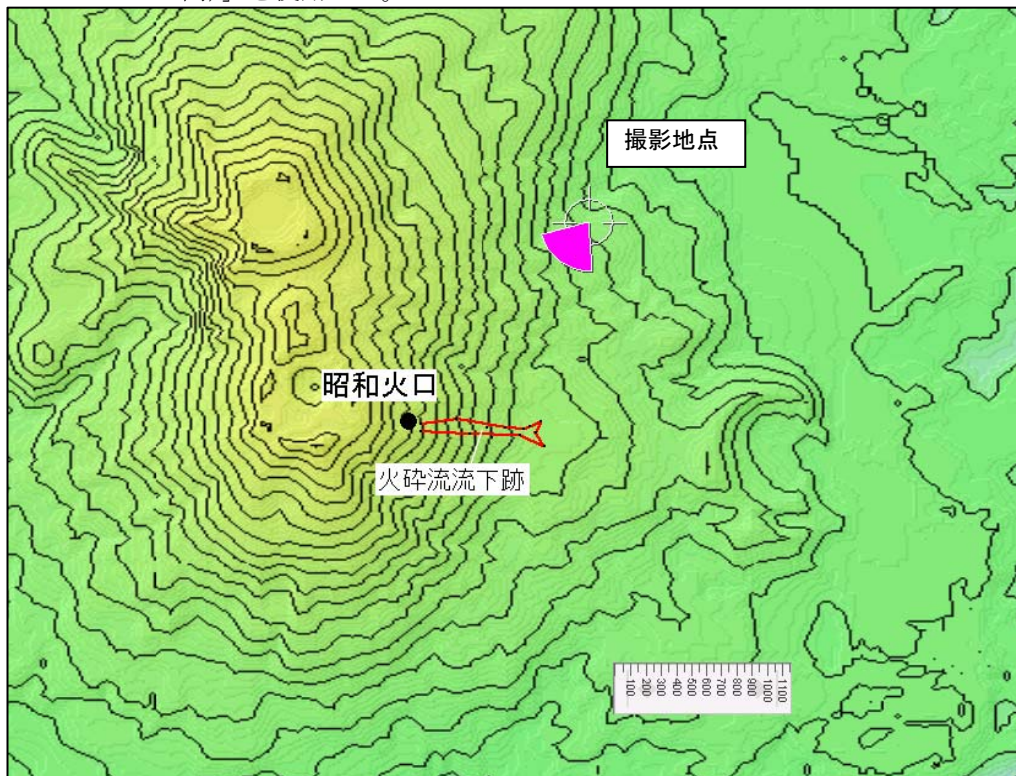


図 8 桜島 カシミールを用いて求めた 2月3日に発生した火砕流跡
この地図の作成には国土地理院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用した。

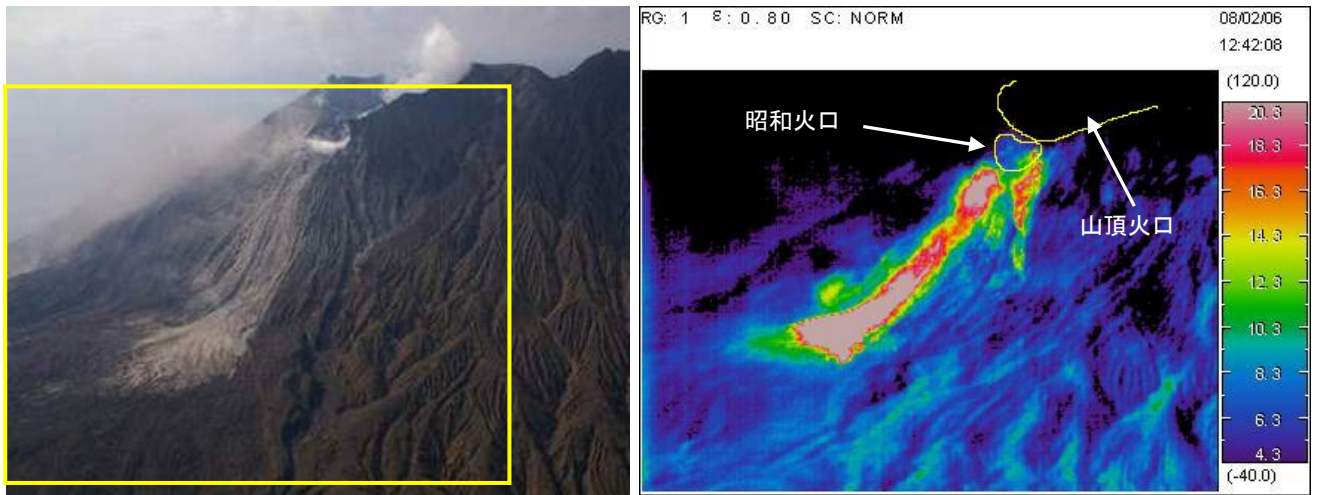


図 9 桜島 鹿児島県の協力により、2月6日12時40分頃撮影した可視画像（左）と熱映像（右）

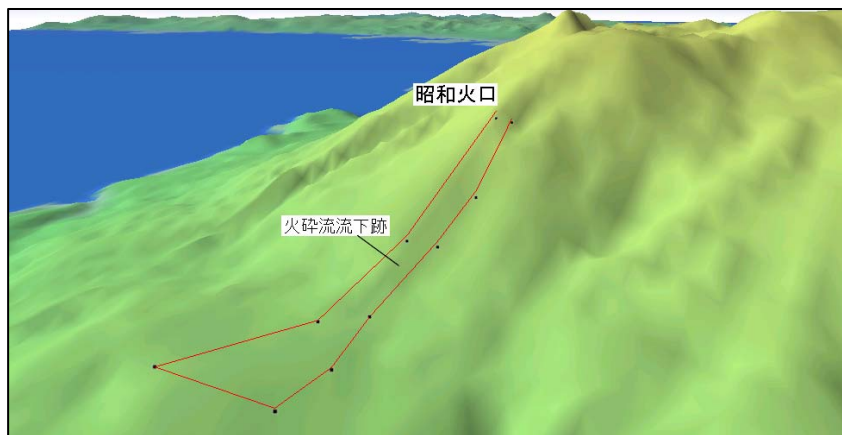


図 10 桜島 カシミールを用いてプロットした火砕流流下跡
この地図の作成には国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用した。

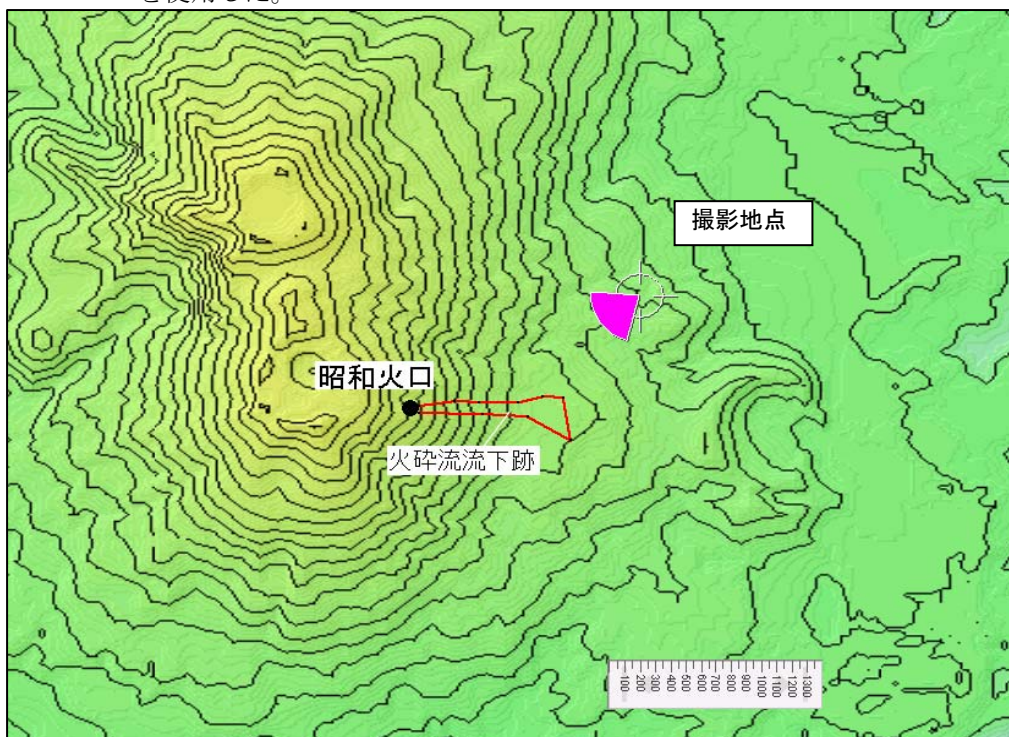


図 11 桜島 カシミールを用いて求めた2月6日に発生した火砕流跡
この地図の作成には国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用した。

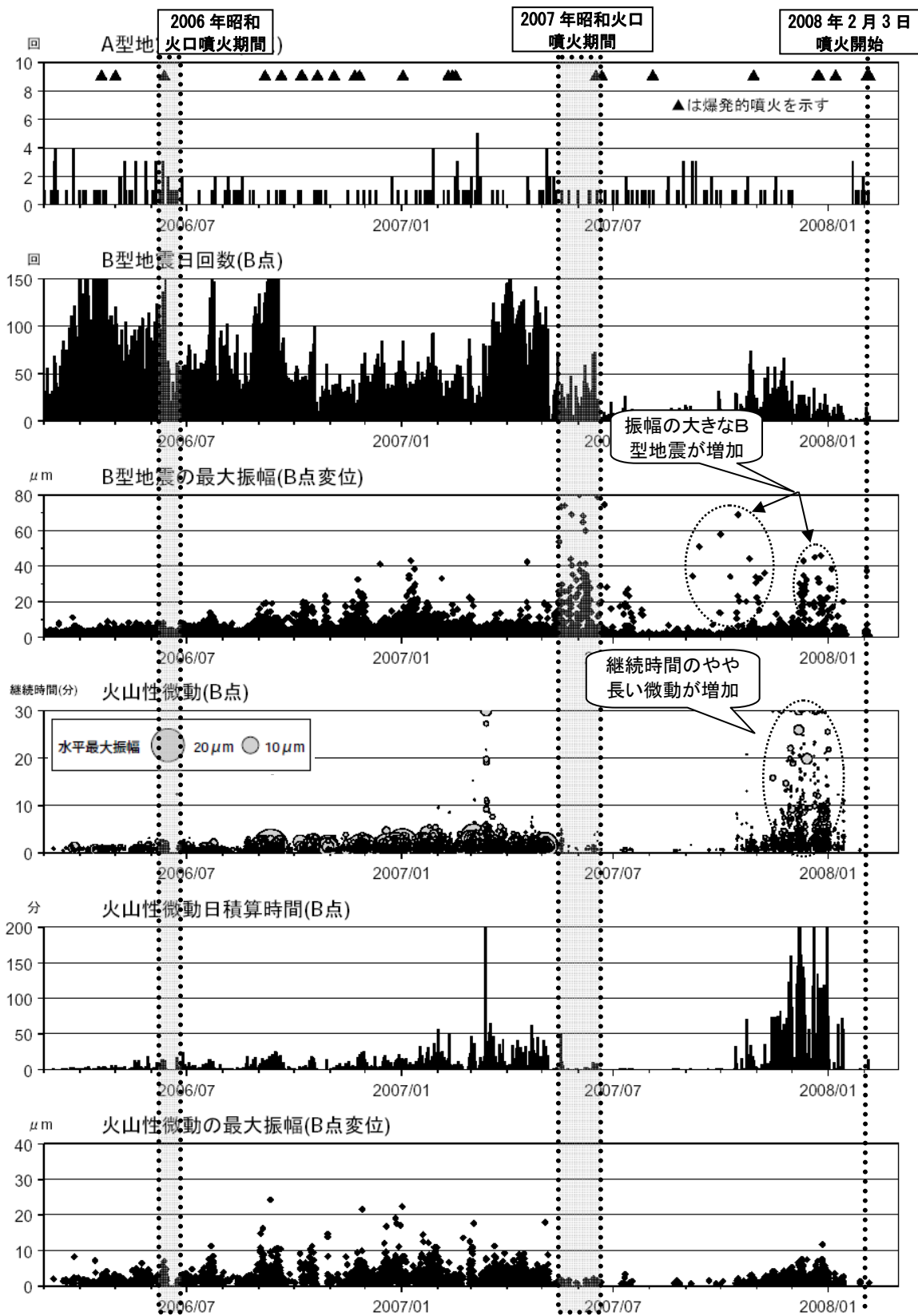


図 28 桜島 最近 2 年間の地震・微動の状況 (2006 年 3 月 1 日～2008 年 2 月 6 日)

- ・ 昭和火口で 2 月 3 日 (10 時 18 分、15 時 54 分) と 6 日 (10 時 33 分、11 時 25 分) に爆発的噴火が発生した。
- ・ B 型地震や火山性微動は 10 月下旬からやや増加していたが、12 月下旬以降は少ない状態となっていた。
- ・ 火山性微動は、11 月～12 月にかけて継続時間の長いものが増加したが、何れも振幅の小さいものであった。

* 領域は昭和火口からの噴火期間を示す。



図 2 三宅島 山頂火口からの噴煙の状況

2008 年 1 月 7 日：山頂火口東側から撮影、坪田（三宅島空港）遠望カメラによる。

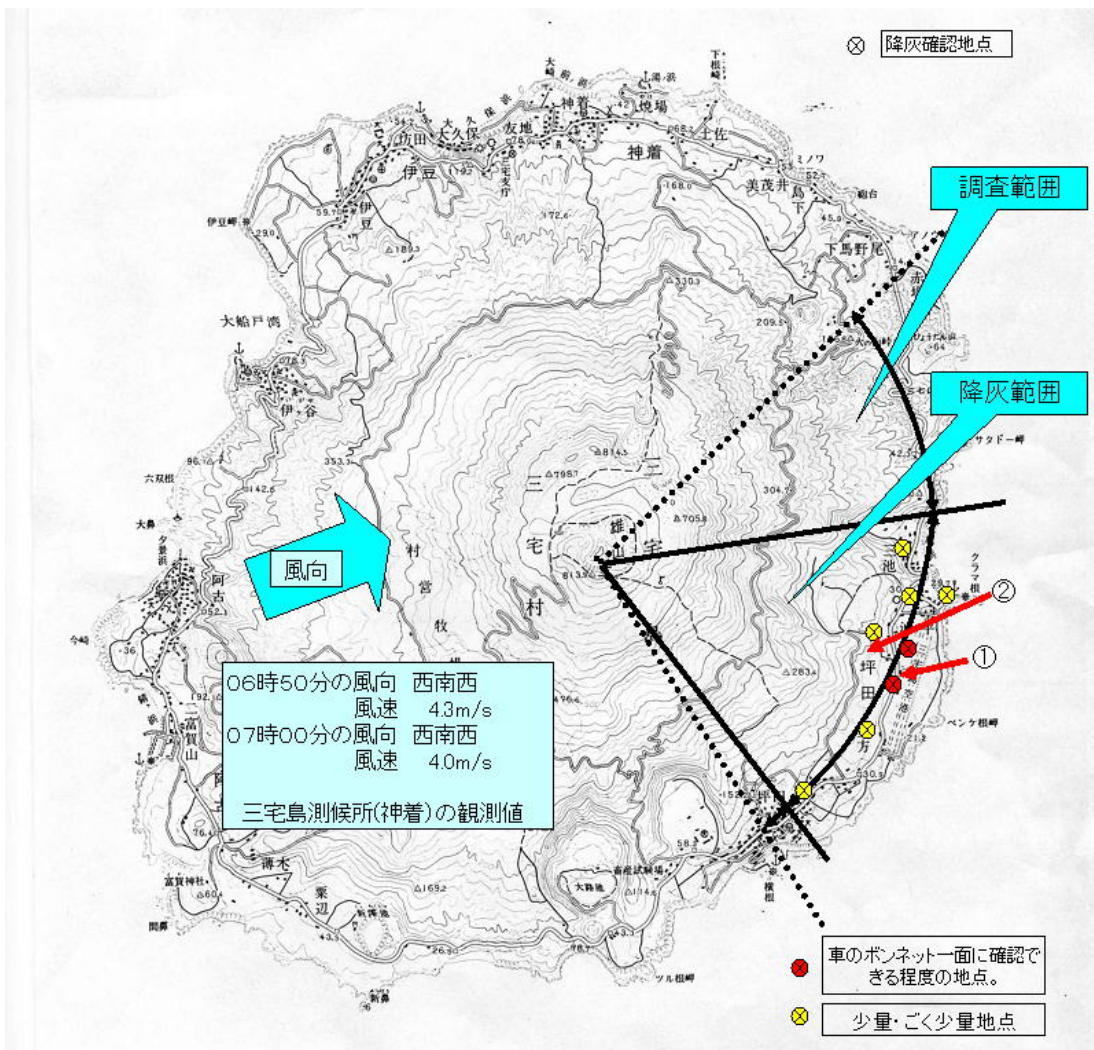


図 3 降灰調査結果

この図の作成にあたっては、国土地理院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図（三宅島）を使用した。

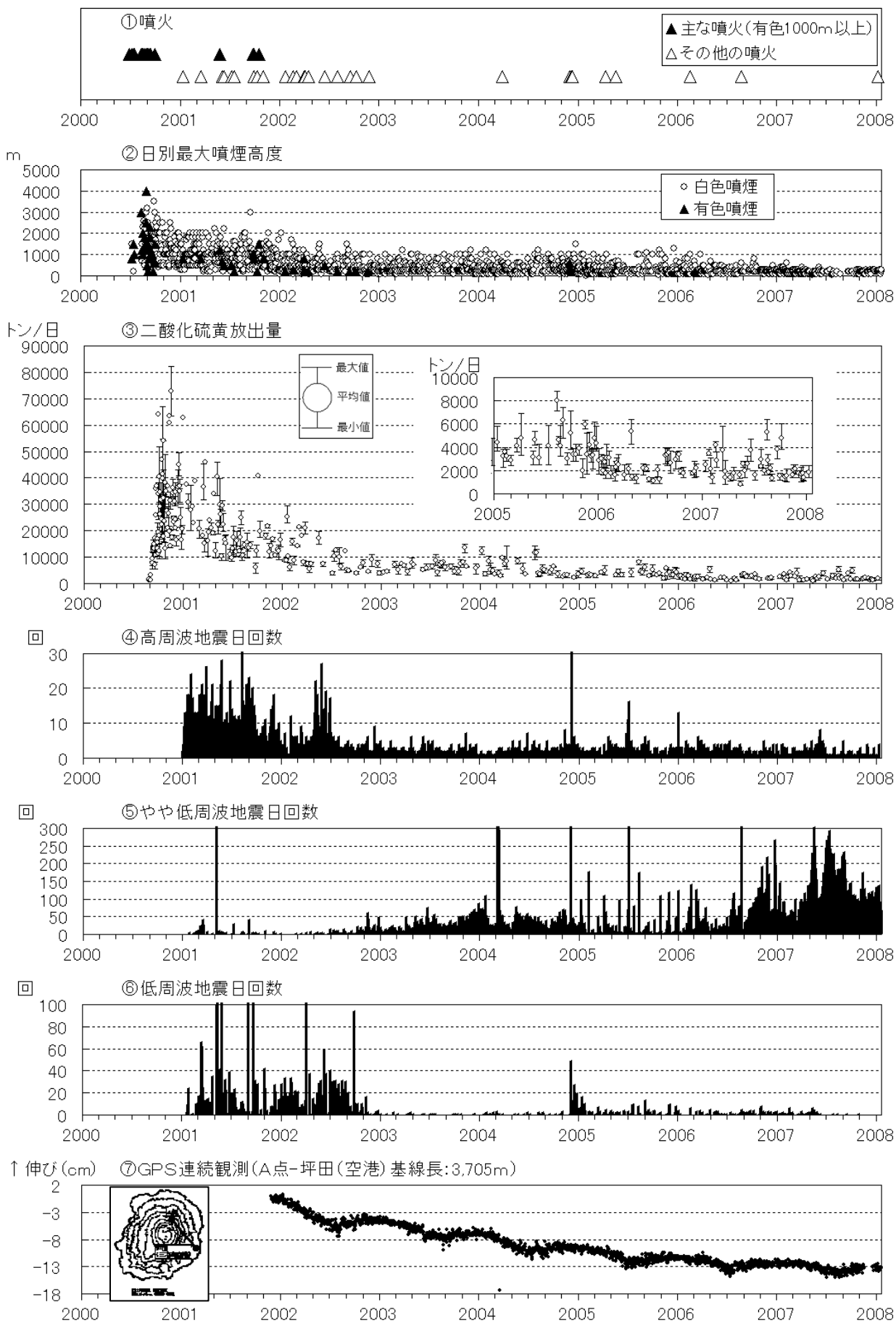


図 8* 三宅島 火山活動経過図 (2000年1月1日~2008年1月20日) 次頁に注釈あり